

星屑

2010年 4月号

No. 421



おおいぬ座とカノープス

おおいぬ座とカノープス
熊本県民天文台観測室から
2010年2月22日

熊本県民天文台

熊本市との合併が近づき、取材が相次いでいます(その1)
3/2(火) 熊日スパイズからの取材
古墳公園や天文台を見て、びっくり！！？



先月、フレートを作ったと報告しましたが

小惑星「城南」の命名記念プレート、城南町が「記念のDVDをつくる!」というので、急遽作成したのですが、今回の取材でも大活躍しました。合併する二つの自治体の名前が並んでいるので、市民にとっても分かりやすい象徴になるからでしょうね。来台された熊日スパイズの取材班にも大受けでした。



上：取材陣にポーズをとってもらって

観測室で

取材は、観測室の屋根をあけるところから始まりました。スライディングルーフを動かすスイッチを押して、大きな音を立てながら屋根が動き始めると、取材班の女性2人は目を丸くして驚き、同時に大喜び! 「これは楽しそう! こんな仕組みだったんですね! 屋根がパカッと開くのかと思っていました!!」と結構興奮気味。

「団体さんを対象に星の観察会をするとき、いつも屋根をあけるところから体験してもらうんです。すると、子供たちは『秘密基地みたいだ!』と大喜びなんです。」という私の説明に、大きく頷きながら早速メモを取り始めていました。

取材中に聞いたのですが、今回は、「城南町」の特徴を熊本市民にも知ってもらおうという目的。城南町役場とも打ち合わせをして取材対象を選定したようです。その際、市内には類似の施設がないため、県民天文台には市民の関心が集まるのではないかと予想したそうです。どのように運営しているのか? 公開日は? 入場料は? 事前の予約は必要か? など、たくさん質問されました。・・・さて、どんな記事に仕上がるのでしょうか???

天体写真の撮影が人気

途中で、天体写真の撮影の話題になりました。取材班のカメラ係さんは、昨年の日食を写真撮影しようと悪戦苦闘、何とか撮影できたものの思ったよりも太陽像が小さかったのだそうです。

「それはなぜですか?」と質問が飛び出しました。そこで、天体写真の撮影法など基本的なことを解説。撮影レンズの焦点距離と写真に写る太陽像の大きさの関係などには、「へえー、そうだったんですね!!!」と改めて納得されたようでした。その後玄関ホールの写真の展示を見て、さらに天体写真の撮影に興味が深まった様子でした。

熊本市との合併後は、きっと大勢のお客さんが来台されるでしょうね。そして、今回の取材班のように、天体写真の撮影に深い興味を持つ人も多いはずです。一般公開時の運営、いっそうの工夫をして、大勢の来台者と一緒に大いに楽しみたいですね!

熊本市との合併が近づき、取材が相次いでいます(その2)

3/8(月) 熊本市広報課からの取材

城南町からは3件か、市の広報誌に掲載されるそうです

電話がかかるてきて

熊本市の広報課から、取材においてになると分かったとき、取材慣れしているはずの私も、少し驚きました。いわゆるマスコミからの取材はたくさん経験していますが、行政(自治体)の広報担当者から取材を受けるのは本当に久しぶりだったからです。どんな目的で、どんな方が担当者として来台されるのか、興味津々でした。



農家と県民天文台と小学校と

取材の目的は、熊本市と合併する城南町や植木町のことを熊本市民に紹介したいから、だそうです。そして、城南町を「代表」するものということで選ばれたのが、上記の3カ所なのだとか。県民天文台の知名度の高さや、期待感を表しているのでしょうね。選ばれて合併直後の広報誌に登場するだけでもすごいことなのだと、取材を受けながら認識を新たにしました。

命名プレートを見て大喜び！

今回の取材でも、小惑星「城南」と「熊本」の命名プレートが大人気。何枚も写真を撮影していましたよ！撮影中も、「これは良い！ぴったりです!!」って、嬉しそうな声が聞こえていましたから、もしかしたら「広報誌」に写真が掲載されるかも知れませんね。

子持ちのパパさんでした！

取材が終わって、もう一度情報を整理。公開日や公開時間帯、入場無料だということ、会費や募金で運営していることなどを確かめていらっしゃいました。そして、にっこり！とても納得がいった様子でした。帰られる間際に、「今度は、取材としてではなく、ぜひとも子供を連れて来たいです！」と言っておられました。こんな声からも、市職員としての立場からだけでなく「一市民」として熊本県民天文台に期待を寄せておられる様子がよく分かりますね。

浮かび上かる「課題」

このところ、「取材」を受けるたびに逆に「取材者」を取材している感じがする私（艶島）です。しかし、そうしているうちに、熊本市民から活躍を期待されていること、それは、私たち県民天文台にとっての大きな「課題」なのだということにも気がつきました。

1. 熊本市には公開天文台がなかった
2. 熊本市内に公開天文台があると分かると、行政や市民が大いに期待する
3. 天文台を利用したいと考える組織・団体や市民が大勢現れる
4. まず、電話での問い合わせが増える
5. 直接来台する人も、かなり増えると予想できる

・・・・すると、どんなことが起こりそうか、皆さんも想像してみて下さい。

1. 電話がつながらなかつたら、不信感を抱く
2. いつでも（たとえば昼間でも）天文台が開いていると勘違いする
3. 天文台がどこにあるのか分かりにくくて道に迷う
4. 天文台に来たけれど、誰も人が居なくて閉まっている
5. 団体で利用したいという要望が増える
6. 同じ日に利用したいという要望が重なる

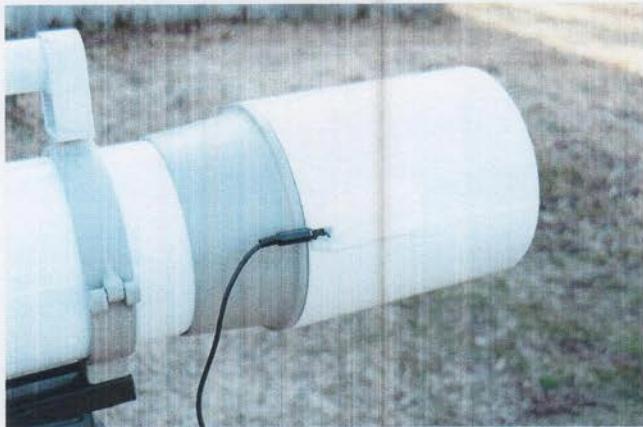
・・・・こんなことが容易に思い浮かぶでしょう？

さて、増加すると予想されるこれらの要望に、まじめに対応するにはどうするのが良いと思われるでしょうか？

城南町と熊本市との合併で、私たちを取り巻く環境にも大きな変化が起こりそうです。それは、私たちにもう一步の前進を、つまりもう一段階の成長をするよう期待しているのだと思います。施設を整備し、機材を充実させ、人材を育成することが必要になっているんですね。もちろん、そんな要請に「応えたい」という気持ちで居のですが、行政との連携を深めるにはどうすればいいか、必要な資金をどうやって確保するか、いくつかの課題がありそうです。

霜や結露を防ぐ！

保温ヒーター内蔵フードを試作しました



フードのコネクターに電源ケーブルをつなぎます



レンズの直前に見える「帯状の段差」が「発熱体」です



オークションがヒント

先日、久しぶりにネットオークションのサイトを覗いたら、格安で出品されている「露除けヒーター」を見ました。その姿は、ニクロム線をコイル状に巻いて、熱収縮チューブで被覆した・・・という感じです。「これなら、適当なニクロム線さえ入手できれば、自分でも作れそう!」そう思いました。

100円ショップで

100円で買えるニクロム線を見つめ、早速、試作品（初代）を作ったのですが・・・。天文台でそれを見たヒゲさん、例によって「フードに組み込めばスマートなんだけど、このままだと不格好だよね」と一言。

それを聞いて、私は一念発起、ついにスマートな「発熱体」を考案。写真のように12cm屈折のフードの内側にうまく組み込んで、第2世代の試作品を作りました。もちろん、今回も100円ショップで見つけた材料が大活躍しています。

撮影時に使ってみたら

フードの外側をさわっても「暖かい」と感じるほどではありません。発熱不足か、それとも故障か？心配したのですが・・・、霜が降りるほどの寒さの中でも大丈夫でした。テスト時は、DC12Vを出力するACアダプターを使用。遠征時にはバッテリーや電池でも使えそうです。

ちょっと一眼

Poem & Illustration

3月に入ってから、星がまともに見えない寝ぼけた夜空どころか、曇天雨天ばかり。星も月も見えない夜が続いています。しかも、異様に温かかった日々から一転して真冬の寒さに逆戻り。三寒四温というものの、こう寒暖の差が激しいと、体調を崩しそうです。皆様、くれぐれもご自愛ください。

さて、まともに見えない夜空ですが、季節は確実に春にむかってますね。一般公開が始まる時間には、もう春の星座が顔を出しています。ししの鼻先のかに座付近には火星、ししのしっぽのさらに後ろに土星、それから春の大曲線・・・

と、見えてくるはず・・・菜種梅雨よ、去れ！



らいおんの せのび

くも の うえ で
らいおんが あくびした

このごろ
することが なんにも ないんだ
みられてないと
きがゆるんじゃってさ

あたまの うえの
火星を ころがしながら
ふううっと ためいき ひとつ

ためいきが ふわふわ つもって
くもは ますます ぶあつくなる

くも の うえ で
らいおんが せのびした

土星が
けられないように
こっそり
あとを ついて くる



By Dio

2010年2月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 9日／12日 = 75%

一般来台者数 22名

総開台日数

10日

会員来台数

29名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
5日 (金)	晴れ	小林J 西嶋 艶島	0人	晴れてはいるものの寝ぼけた空、ぱっとしません。 火星はユラユラ・・・・・・極冠が分かる程度 ・・・・(先週と同じですね・・・・) 撮影?
6日 (土)	晴れの ち曇り	中島 小林J 艶島	7人	シリウス、火星、M42 せっかく晴れたのにすぐに曇ってしまって残念!! 望遠鏡の使い方の説明をしました。 撤収中に1家族来台。火星とシリウスを見ました。 彗星観測 写真撮影?
7日 (日)	晴れの ち曇り	艶島	0人	「リゲルのそばを赤い星が通った。あれは何か?」 と電話がありました。(19:00過ぎ頃) 「室内にいるので目撃していません。」と答えたらがっかりしている様子でした。 20時過ぎても晴れないでの帰ります。
9日 (火)	雨	艶島	3人	取材2人、城南町役場1人来台。 合併で「城南町」がなくなるので、記念のDVDを作るようにです。あいにくの雨! 屋根を開けずに望遠鏡や天体写真を撮影しました。
13日 (土)	曇りの ち晴れ	中島 艶島 小林J 小林M 高田 西嶋 中島	0人	Talk about 星屑発送、情報交換

日付	天気	担当運営	来台数	記　事
1 9 日 (金)	晴れたり曇つたり	小林J 小林M 西嶋	4人	月、火星 19時に著と遅れて来たらお客様が待っておられました。開けたとたんにが出て雲間の月がやっと。しばらく下で休憩してその後月・火星と見ることができました。お客様のうち学生さんが一人一緒に晴れるのを待ち月と火星をケータイで撮影して帰られました。 (西嶋は小林 Mさんと当番を交代 sたことを忘れて来てしました。) (西嶋さん、日曜日よろしくお願ひします!)
		艶島	1人	生涯学習センター 宮部氏 H22年度講座についての打ち合わせ
2 0 日 (土)	快晴	中島 (富永)	2人	火星、月、シリウス等々 快晴、久しぶりのいい天気です！ヘールぼつぶ彗星の時に買った望遠鏡を使って写真を撮りたいという人が来台。いろいろと話して行かれました。NHKの講座にでられた方です。
		西嶋 小林 J 艶島		火星、月、土星 彗星観測 M65、M86
2 1 日 (日)	晴れ	艶島 西嶋	0人	どん曇と思ったら晴れました。でもお客様は0です。月、火星と見ましたがコントラストのよい空でなかなかきれいでした。でもやっぱりユラユラです。 月、火星
2 6 日 (金)	雨	艶島	1人	3／13(土) 団体での利用をご希望でその打ち合わせ。学習塾で小学生を中心に20数名の予定。
2 8 日 (日)	晴れ	艶島 小林ま 西嶋	4人	久々の晴れでお客様も4名ありました。 薄雲があり、ほぼ満月ということもあり見えるものが少なかった。 月、火星、ベテルギウス、リグル、シリウス、カストル

星屑が届く頃には、熊本も桜の開花発表がなされていると思いますが、この原稿を書いている時、既に近所の公園の桜は開花してたので、私としては発表が高知県に遅れた事が残念なような、悔しいような…。一番じゃなきゃダメ、という事ではないのですが。単に開花一番だと、花見も一番先に始めて文句出ないかなあと…。んで一番に酔っても大丈夫！！の、はずだったんですけどねえ。今年は何処で花見かなあ。(^_^;) 3月は、満月が2回ある月になります。30日のブルームーン、見られると良いですね。

☆ 4月の天文現象＆行事☆

- 5日（月） 清明(せいめい)…春の日射し強く、全てのものが清く溌剌としてくる時期)
- 6日（火） 下弦（18:37）
- 7日（水） こぎつね座Rが極大（7.4～14.3等 周期137日）
- 9日（金） 水星が東方最大離角（08:30 0.1等 視直径7.7"）
夕方の西空低く、金星と水星が並んで見られる
- 10日（土） トーケアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）
- 14日（水） 新月（21:29） うしかい座S星が極大（7.8～13.8等 周期271日）
- 16日（金） 夕方の西空低く、細い月と金星が接近し、水星も並んで見られる
- 17日（土） 月とプレアデス星団のη星アルキオーネ（3.0等）が接近（00°50'）
火星とプレセペ星団が最接近（00°51'）
- 20日（火） 穀雨（こくう…春の雨が穀物を潤す時期）
- 22日（木） 上弦（03:20） いて座RTが極大（6.0～14.1等 周期306日）
- 23日（金） こと座流星群が極大（4月16日～4月25日）
- 26日（月） おとめ座流星群が極大のころ（3月中旬～4月下旬）
- 28日（水） 満月（21:18） 水星が内合（20:34 5.9等、視直径11.9"）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2010年4月号 通巻421号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県熊本市城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
ホームページ <http://kcao.jp/>
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで